

2017年8月9日

公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団

2017年度環境分野の博士号取得支援「学術研究助成」助成先の決定

公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団（理事長：二宮雅也、以下「損保ジャパン日本興亜環境財団」）は、国内の大学院博士課程に所属する研究者を対象とした「学術研究助成」制度の2017年度助成先5件を決定しました。

1. 学術研究助成の概要

弊財団の学術研究助成制度は、環境をテーマとする意欲に満ちた優秀な若手研究者を支援し、「総合学としての環境学」の確立に寄与することを目指して、2001年からスタートしています。国内の大学院博士課程に在籍する35歳以下の研究者の環境分野の研究を対象としており、2016年度までに合計77名の方に助成を行なっています。

（助成実績）

<http://www.sjnkef.org/grant/index2.html>

2. 2017年度助成先（助成金額1件あたり30万円）

氏名	所属	研究
亀岡 大真	京都大学 アジア・アフリカ 地域研究研究科	森林火災と地域住民の関連性を3つの地図より読み解く
伊川 萌黄	九州大学大学院 工学研究院	日本における車体課税のグリーン化のCO2削減効果
羽島 有紀	一橋大学大学院 経済学研究科	環境・経済思想にみる「自然の経済的価値評価」の課題
木村 元	明治大学 文学研究科	一般市民にとっての“環境リスク概念”とリスク管理のあり方に関する環境社会学的研究
楊 潔	神戸大学大学院 経済学研究科	中国における水道事業の民営化が子供の健康状態に与える影響に関する研究

3. その他

制度の詳細につきましては、損保ジャパン日本興亜環境財団の公式ウェブサイトをご参照ください。 <http://www.sjnkef.org/grant/index.html>

以上